

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 工房ポルトス		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 1日		～ 令和 7年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の支援内容の満足度が高い	感覚運動プログラム、作業訓練、音楽プログラム、そして季節のプログラムなど、様々な活動を行っている。 作業訓練を通して生み出された作品を毎年展示し、保護者や関係者を招き、作品ができるまでの過程やポルトスの雰囲気味わってもらっている。	今後も継続してプログラムを提供していくとともに、新たな取り組みを行っていくことで、より深みのある活動ができるように努力していく。
2	施設が広く、空間的なゆとりがある	本館1階、2階、ホール、庭、新館と子ども達がのびのびと活動できるように空間を広くとって活動するようにしている。	各場所でプログラムを実施し、子ども達が主体的に活動に参加できるような試みも行っていきたい。
3	専門的な支援を行っている	知識・経験豊富な管理者のもと、職員研修を通して専門性を上げ、子ども達への支援に還元している。	現状に満足することなく、実践的な研修や最新の知識を取り入れつつ、利用者や保護者への支援に役立てていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの交流の少なさ	事業所内での活動で完結しているため、地域の子どものと関わる機会が少ない。また、外出活動や児童館などでの活動の機会がないため、交流の場が持てていない。	地域の子どものをポルトスに招き、子ども達同士が交流し、互いに成長できる場の提供を検討していく。
2	保護者同士の交流の場の少なさ	コロナ禍もあり保護者同士で交流できるイベントを中止せざるを得なかった。	今まで行ってきたイベントを再度企画・実施することで、保護者同士の交流を促していきたい。
3	保護者も参加できる研修会や情報提供の機会の少なさ	感染症対策のため、多人数・対面式での研修会を開くことができなかった。	今後は職員研修だけでなく、保護者も招いて子どもを取り囲む大人が同じ方向を向いて関わっていける様な研修会や子どもにとって有益な情報を提供していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		非営利活動法人 工房ポルトス		公表日		令和 7年 3月 31日		
				利用児童数		43名		
						回収数 36部		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36				屋内・屋外共に体を動かせるスペースがあると思います。 子どもが骨折して、車椅子の時でもスペースがあり通えました。 活動場面を見たことが無いため。	随時活動内容の見学等を受け付けておりますが、今後は定期的に保護者に周知していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1		3	急な用事でも必ずどなたか連絡対応可能です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	2			階段はありますが、手すりがついています。 活動内容ごとに部屋が分かれているので、子どもも気持ちの切り替えがしやすいと思います。 家とは違う、少し変わった構造を、かえって興味深く見ているので良いと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36				活動できる場所が何か所かあり使い分けられている。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	1		1	季節や年齢によってプログラムが変化するので、子どもも毎回新鮮な気持ちで取り組んでいる様子がうかがえます。 活動内容が分からないため。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	6	6	22	今のままで十分だと思います。 毎週土曜日に利用させていただき、学校とは違う環境の中で、先生方やお友達と過ごす空間を与えていただいている事がとても有難いことだと思っています。 活動していると聞いたことが無いため。	随時活動内容の見学等を受け付けておりますが、今後は定期的に保護者に周知していきます。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	36						
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	4	2	15	自ら聞いたら答えていただけたと思いますが、聞いたことがまだなかったため分からないにつけました。 具体的に聞いたことが無いため。	来年度については、保護者の方も参加いただける研修会等も検討していきます。	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	35	1			送迎時に様子を聞けます。		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1			面談はあります。気になる点などは、その都度聞けば教えて下さります。 困ったことがあると、すぐに具体的なアドバイスをいただけるので助けてもらっています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	8	8	15	感染症対策などもあり、保護者間交流が難しい為不満はなし。 コロナ禍もあり、おもちゃ会などの計画がなくなり保護者間での交流はありませんが、送迎時や作品展で保護者の方とお話しする機会もありますし、兄弟のことも面談時等にご相談させていただいているので、とても満足しています。 今のままで十分です。 父母の会？はないのかなと思います。 保護者同士の交流は私は今はないです。	コロナ禍だったこともあり、例年実施していた交流会は中止とさせていただいておりました。来年度については何らかの形で実施していきたいと考えております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	3		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	4		10		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1		4	自分の子の利用日に当たるかは分かりませんが訓練はされていたかと思えます。	施設利用の際に説明させていただいておりましたが、再度周知・説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	34			2	週1回しか行っていないので分かりませんが、別日にやっていると思えますが。	毎年、年2回実施させていただいております。来年度も同様に実施予定です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	34			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1		3	必ず、体温測定をしていて急な高熱などで連絡くださり助かっている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35			1	話を聞く限り落ち着いて参加できているようです。 子どもだけでなく、親の私共々安心して通所させていただいております。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	2		1	冗談で、今日はお休みする？などと聞くと、「しない！」と言っているのが楽しいのだと思います。 「ポルトスいくー！」と言って元気に家を出て通えているので、有難いです。 最近は外出があまり好きではなく、家にいたがる。	様々なプログラムを実施することで、子ども達の興味関心を高め、少しの時間でも「行きたい！」と思えるような活動を、今後も継続して行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36				実際に見ることは少ないですが、様子を聞いたり本人を見てみると、子供に合わせた支援をしていただき、よく見ていただいているんだろうなと感じました。 親子で先生方には支えられています。これからもどうぞよろしく願いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		非営利活動法人 工房ポルトス		公表日		令和 7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	3		PDCAサイクルがうまく回っていない部分もあるため、改善に向けて徹底していく必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		作品展にて外部の意見を取り入れる機会を設けているが、まだまだ不十分である	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		コロナ禍もあり交流が難しかったが、来年度は実施計画していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		コロナ禍もあり交流が難しかったが、来年度は実施計画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	4		送迎時の口頭でのやり取りが多くなっているため、保護者の意見を取り入れながら改善していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				